

2021/8/30

リトルハウス通信

リトルハウスは障害者総合支援法における「就労継続支援 B 型」の施設として、利用者の皆さまが通所し、ここで「作業」を行っています。

この「作業」とは、利用者の皆さまが、自分自身の障害や体調にあわせ、自分のペースで作業を行いながら、次のステップとして就労を目指したり、あるいは通所し「作業」をすることで、地域での安定的な生活を維持する役割があります。よって、リトルハウス、そして利用者の皆さまにとって、その「作業」にはとても大きな意味を持ちます。

上記を前提として、施設の責務は「やりがいのある作業の確保」です。

即ち利用者の皆さまがリトルハウスでやりがいやそれぞれの目標をもって作業を行い、その対価として、当然のことながら、工賃をお支払いする必要があるからです。

私たちリトルハウスの主な作業は、

- ・地域の皆さまから譲り受けた品物をネットオークションに出品
- ・手芸品や自家製のせっけんの製造
- ・メンバーと職員の昼食作り

が上げられます。

そしてもうひとつ、

リトルハウス通信 6 月号でもご紹介した、MS 商会様から受注している「電子機器等の検品作業」もとても重要な作業のひとつです。MS 商会様は、Amazon、yahoo、楽天等に、多岐にわたる電子機器の商品を販売している会社なのですが、それら商品の検品作業をリトルハウスで受注しているんです。

作業内容は、商品を出荷する前に品番や数量などが間違っていないか、また商品に破損や汚れがないかを検査し納品までを行います。

この作業は、いくつもの工程に分かれており、自分自身が今どの工程で、何をやっているのか、そして各工程ごとに注意しなければならないポイントを理解し、最終的には出荷から納品までの全体像を把握しながら作業を行う必要があります、チームワークがとても必要になります。

MS商会の社長の大野様はリトルハウスのメンバーそれぞれの個性に対し、非常に理解

をして下さっています。頻繁にリトルハウスにお越し頂いては、メンバーと雑談を交えながら、楽しく作業できるよう環境づくりにも心を配って下さいます。

そして安定的にリトルハウスに仕事（作業）の供給をして頂いていることと、利用者の方々に対して工賃支払い金額をアップすべく、リトルハウスでできる仕事量を増やしていく努力を我々リトルハウスのスタッフと一緒に、必死に考えて下さっています。本当に感謝してもしきれない存在です。

しかしそこに大きな問題があります。それは「安定的な作業」を供給し、仕事量を増やし続けることは即ち、常に「商品在庫」をリトルハウスで預かり管理する必要があるということです。その為、いつしかリトルハウスの一階部分に、その作業を行うために必要な「商品」が増え続けてスペースを占領し始めていることに頭を悩ませていました。

そこで我々職員、利用者、MS商会の社長の様共々、リトルハウスの一階にある不要な物の断捨離を決行しました。戸棚という戸棚に入っている今後使うか使わないかわからない小物、大物も含め、断腸の思いで処分し、結果としてかなりのスペースを確保することができました。

どこのスペースを開けると在庫商品がどれだけ収納できるか、商品のケースを縦に入れるか横に入れるか、どう収納すれば作業の効率がよくなるか、何を処分し何を残すか等をみんなで頭を悩ませながら、断捨離&片付けを行ったのです。それは、職員、利用者、取引先の様それぞれが立場を超えて、みんなで大きなパズルゲームをやっているような楽しさがありました。その成果？の一部ではありますが、分かりづらいかもかもしれませんが…、こんな感じに収まりました！ 引き続き、断捨離は続きます。 (鈴木)

